



2022 年 7 月 14 日

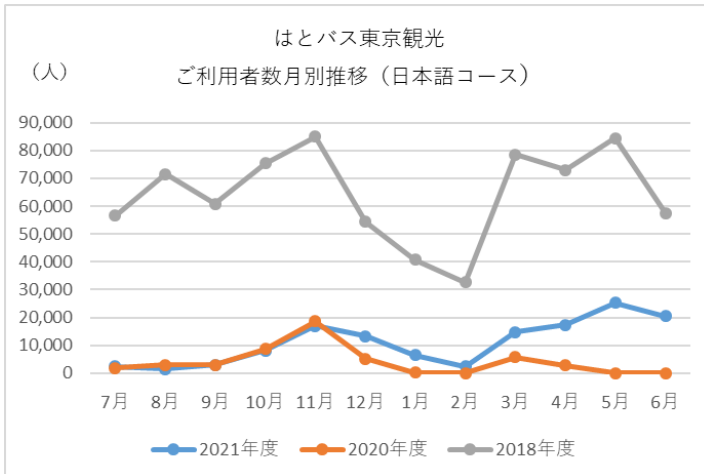
報道関係各位

はとバス 東京観光 2021 年度ご利用者数 132,007 名

前年度の約 3 倍 コロナ禍の観光需要 徐々に回復

株式会社はとバス（東京都大田区／代表取締役社長 塩見清仁）の 2021 年度（はとバス会計年度 2021 年 7 月 1 日～2022 年 6 月 30 日）の東京観光ご利用者数は 132,007 名（速報値）でした。新型コロナウイルス感染症の影響がない 2018 年度比では 17.1%にとどまっていますが、コロナ禍の 2020 年度比では 270.4%と 3 倍近いご利用者数となりました。

なお、主にインバウンド向けの外国語コースは、新型コロナウイルス感染症拡大による入国制限が実施されていたため、2020 年 4 月以降、コースの発表・運行の休止を継続しています。



<年度別東京観光コースご利用者数>

(単位:人)

	2021年度	2020年度	2018年度
日本語コース	132,007	48,825	770,977
外国語コース	—	—	45,371
合計	132,007	48,825	816,348

<月別東京観光コースご利用者数（日本語コース）>

(単位:人)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
2021年度	2,380	1,543	2,882	8,171	16,891	13,283	6,562	2,370	14,853	17,282	25,301	20,489	132,007
2020年度	1,944	2,923	2,954	8,617	18,559	5,105	279	0	5,694	2,750	0	0	48,825
2018年度	56,602	71,596	60,746	75,479	85,058	54,331	40,793	32,678	78,553	73,074	84,461	57,606	770,977

2021 年度の東京観光ご利用者数は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、低調に推移していましたが、3 月以降は行動制限が解除されたことで需要の回復が徐々に見られ、コロナ禍の 2020 年度と比べて 3 倍近いご利用者数となりました。

7 月～9 月は、東京都で 4 度目の「緊急事態宣言」が発令されていたため、屋根のないオープントップバスで運行する「TOKYO パノラマドライブ」などの短時間コース 2 本に限定して運行しました。その後、「緊急事態宣言」が解除され、10 月～11 月の秋の行楽シーズンには紅葉観賞コースを中心にご利用者数が増加しました。また、ワクチン接種が進んだことも追い風となり、「GoTo トラベルキャンペーン」や「もっと Tokyo」などの観光促進事業が実施されていた 2020 年度の同期間とほぼ同じ水準のご利用者数となりました。しかし、12 月に入ると新たな変異株「オミクロン株」に対する懸念の影響が、

予約の伸びが鈍化し始めました。「オミクロン株」は急速に拡大し、1月には東京都で「まん延防止等重点措置」が適用となり、ご利用者数は大きく減少しました。

3月に入ると感染拡大が落ち着き、風向きが変わり始めました。「まん延防止等重点措置」が解除となり、3月～4月は見頃を迎えた桜を觀賞するコースを中心にご利用者数が増加しました。5月は、最繁忙期であるゴールデンウィークが3年ぶりに行動制限のない中で迎えられたこともあり、2021年度の中でも最も多いご利用者数の月となりました。6月には都内観光促進事業「もっとTokyo」が1年半ぶりに再開し、対象コースは即日完売となるほどの反響をいただき、単月のご利用者数はコロナ前の2018年度比で4割近くまで回復しました。

【2022年度の見込み】

2022年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念があるものの、回復基調にある観光需要が「全国旅行支援」の開始により、さらに高まっていくことを期待しています。すでに実施されている「県民割」では東京都は対象外であり、他の道府県からの観光客誘致が難しい状況にありましたが、「全国旅行支援」が開始となれば訪都者数も増え、都内の観光地を巡るバスツアーのニーズは高まると見込んでいます。

また、今年6月からは羽田空港制限区域内を2階建てバスでドライブする「羽田空港ベストビュードライブ」コースを運行しています。当社のバスが羽田空港制限区域内を走行するのは創業以来初めてのことであり、こうした新たな取り組みを通じて今後のご利用者数の増加を目指します。

インバウンドについては、入国制限の緩和が始まりましたが、添乗員付きパッケージツアーでの入国に限定されていることから、外国語コースの再開は見合わせています。今後制限がさらに緩和され、個人旅行での入国が可能となればビジネスチャンスがあると捉えており、コースの再開に向けた準備を予定しています。

今後も、観光支援策や入国緩和の動きに迅速に対応できるよう、細やかな情報収集に努め、引き続き感染防止対策を徹底し、安心してご参加いただけるバスツアーの実施に向けて努力してまいります。

本件に関する報道関係の方からのお問合せは 下記までお願いいたします。

株式会社はとバス 広報室（大田区平和島 5-4-1） TEL. (03)3761-8128

岩脇 ・ 伊藤 ・ 棟近